

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	[仮称]相模原市中央区淵野辺計画 新築工事( 工区)	階数	地上14F
建設地	相模原市中央区淵野辺二丁目133番6外	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	763 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2015年2月10日
敷地面積	5,507 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,683 m <sup>2</sup>	確認日	2015年2月10日
延床面積	17,498 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参照値: 100%  
 建築物の取組み: 72%  
 上記+: 72%  
 上記+: 72%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 住宅用途らしいアースカラー系の外壁色や、近接する建物との調和を意識した外観とし、町並みに配慮した。周囲への圧迫感の軽減のため、道路からセットバックした住棟配置とし、アルミ手摺やマリオンを用い建物の分節化を図った。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> ・住戸の主開口面には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F をほぼ全面的に採用し、低VOCの建材も全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。 ・各住戸に電話、CATV、インターネットに対応した回線を引き込む計画。 ・入居者が多目的に利用出来る集客室を共用施設として計画。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・敷地外周の道路沿いには、公開性のある歩道状空地を設け、地域の賑いに配慮する。 ・相模原市の景観計画に適合した彩色とした。
<b>LR1 エネルギー</b> ・省エネルギー対策等級4とした。 ・廊下側及び妻側サッシは複層ガラスとする。(空気層6mm)	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・内装の更新性に配慮し、二重天井、二重壁の採用。 ・和室機にダグ機を採用する。 ・共用部の給水管にステンレス鋼管を採用し、耐久性の向上を図っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・相模原市の緑化基準を上回る緑化に努めた。 ・相模原市の指導に基づいた雨水排水の流出抑制対策を実施。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される